



ば は ら

波原便り

県立辺土名高等学校
令和6年12月25日(水)
発行者 校長 桃原健次
第15号

アナウンサーに学ぶ朗読の技術&キャリア教育講演会

12月20日(金) 5・6校時

RBCの仲村美涼による「アナウンサーから学ぶ朗読の技術とキャリア教育講話」を行いました。話し方を学ぼう！朗読を楽しもう！アナウンサーにいろいろ聞いてみよう！という内容で、図書委員会が過去4年間続けてきた地域のこども園や小学校等での読み聞かせ活動のためのアドバイスや人前での話し方の指導。また、キャリア教育として仲村さんの学生時代からの経験やアナウンサーという職業についての話をして下さいました。会場で話しかける場面もあり、仲村さんが高校時代にアナウンス部門(準優勝)で全国大会に出場した経験を交え、同大会に出場(ラジオ部門優勝)した本校の生徒とのやり取りの紹介もあり、興味を引くお話で、進路について考えるよい機会になりました。

話し方を学ぼう



絵本の朗読



ビブリオバトル

12月15日(日) 会場：県立図書館 全国高校ビブリオバトル沖縄県大会実行委員会主催、活字文化推進会議共催で大会が開催されました。今回は、全体で16名の参加があり、優勝は首里高校3年の神里さんでしたが、本校1年生の高村寛太(かんた)さんが紹介した、森見登美彦:著『四畳半神話大系』が準チャンプ本に選ばれました。本の内容を一生懸命説明する姿に、本当にこの本を読んで欲しいんだという気持ちが表れていました。これからたくさん本読んで紹介して期待しています。

※ビブリオバトルとは、誰でも参加できる誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームで、「知的書評合戦」とも呼ばれている。



やんばる圏高校生スピーチコンテスト

12月14日(土) 会場：名護市国際交流会館

「やんばる地域の高校生の英語発表力と国際理解の向上を図ることを目的に、名護市国際交流協会が主催、名護市共催、在沖米国総領事館、各新聞社などが後援して開催されています。2年生の島袋禮(らいか)さんが、「How to make the most of my high school life experience for the future」「経験と知識は自分の財産になる」と題し、自然環境科やサイエンス部での活動と成果、将来の目標について約4分間の英語スピーチを堂々と発表。昨年度の悔しさをバネに、ALT(外国語指導助手)と練習に励み、優勝・準優勝(国立沖縄高等専門学校の生徒)は逃したものの、島袋さんは今回3位入賞を果たしています。

27回 やんばる圏高校生英語スピーチコンテスト



キャリア教育プログラム

12月19日(木) 5校時

本校の1・2年生を対象にキャリア教育の授業を実施。いろいろな仕事に興味を持ち、適切な進路を選択する力を養うことを目的に「職業探究の旅に出よう!」に取り組みました。Jobtag(サイト)を活用、各自で一生懸命思考し、ワークシートに書き込み、自分自身に適した進路について考える機会になりました。

★明日から冬休み、健康で安全に過ごし、三学期、元気な姿で皆さんと会えることを楽しみにしています。(〇〇)/~~~~

※波原便りは辺土名高校のホームページにて、過去号も含めご覧になれます。